

# 子のやる気 親の気づき

〇〇40



今年も2学期期末テストの時期になりました。子どもたちは通信簿の成績を上げ、晴れてお正月を迎えたいと食欲(どんよく)にテスト勉強に励んでいるかと思いきや、どうも様子が違います。

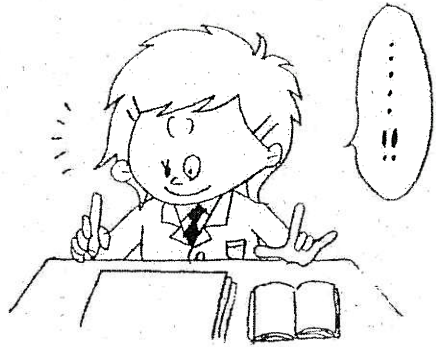
先日も「今回こそ成績を上げるぞ」という

## 価値観

熱意や「もう明日だ」という切羽詰まった気迫が全く感じられなかった。塾生一人一人に「今回の目標は？」とクラス中に響き渡る声で聞いてみました。初めは「できるだけ上」と答えていましたが、「5教科で何点か」と聞かずに聞くと「え、400点」僕は「350点」などと答えました。私は点数を聞きながら、あらためてゆとり教育の現状に

# 妥協でなく目標持とう

## 「押し付け」なくても自覚



by yoriko

校でも頑張れよ」と言っている。「うん、弓道でもやろうかと思ってる」と。その後も次々に話し掛けてみましたが、結局「高校でも頑張ります！」と答えた子は10人に1人の割合でした。もちろん弓道を始めることが悪いと言っているのではありませぬ。子どもたちの本心には中学生生活にはなかった、例えばラグビー部や弓道部に未だの何かがあると思っ

「大きいことはいいいけど、甲子園はやめてきます」とキッパリ断られました。また別の男子に「テニスで県大会に行ったよね。高

ため人のために活躍しなさい」と話してみたいかがですか」とお話ししました。反発したくなるような価値観の押し付けも、それでも自分を大切に将来は独立し活躍したいという子どもの心は確実に芽生えています。(畑山篤一志学塾塾長)

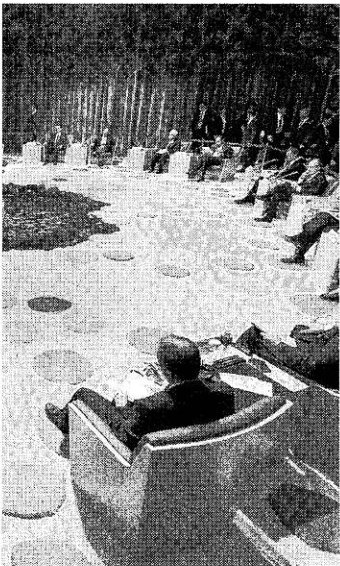
約175に確認をお含める。物。その多自分たちの知ってもら都内の中、ど、生物塾招いて特た。

日系カナ イッシュユ 善教授のキ博士(毛四 牧中を訪、 つのノーベ 知られる一 プリフッド 賞した生物 動物家。生物 10回締約同 10)の関浦 日していた 出迎えた 110人。 緑地から集 床に広げ、 に観察。杜 かき分けス ダンゴムシ する。博士は やなく、か 含んでいス けて回った 「タイム 年前へ」に立った博 出し、生徒 現前の想像 へといざと

## 教育

テーマでした。どういうことでしょうか。

例えば、A国の自動車会社がB国に車を輸出するとします。各国の政府は自分の国の産業を保護するため、輸入品には「関税」という税金をかけるのがあつうです。B



各国の首相や大統領ら ましたAPECの会合 日、横浜市西区

の会議では、まず、 国から16カ国が集ま かつかのグループが、 それまとまりを強め、 れらを土台に計画を

# ニュース なぜなに